

高原だより

発行 / 阿毘縁むらづくり協議会

電話 87-0909

平成 22年 3月

二十二年度 むらづくり定期総会

十二日各種団体代表・むらづくり役員三十六名の参加で二十二年度の定期総会を開催しました。はじめに、二十一年度の事業報告・決算報告、二十二年度事業計画・予算案の承認を受けました。

今年度は、むらづくり協議会・各自治会ともに役員の変更期にあたっており、むらづくり協議会では一月末の理事・事務局会議で役員推薦委員を、各自治会から三名ずつ選出しました。

総会の三十日前から、役員推薦委員九名が数回の会議を開催し、理事候補八名を推薦していただき総会で発表があり、出席者で選挙を行い新理事が承認されました。

新理事紹介 (五十音順)

足立一郎、荒金カツコ、荒金敏文、荒金実、石倉敏広、遠藤一男、

林富実代、丸山精一さんの八名です。あと三名の理事は、各自治会総会で会長になられた方が就任されます。よろしくお願いします。

ふるさと大賞 受賞おめでとう

この度、「第一回日本海新聞ふるさと大賞」受賞に当たり、私にこの様な大きな賞、本当に光栄と存じます。これも地域の皆様のご支援があつてのこと有難うございました。これからも少しでも地域で安心して暮らせるよう頑張つていきたいと思ひます。

高柴弘義

この受賞に対し、高柴弘義さんよりむらづくり協議会へ金一封をいただきました。ありがとうございました。有効に使わせていただきます。

ゴミ袋は郵便局で販売していますヨ

皆さんは、ゴミ袋の販売場所をご存知でしょうか？

役場住民課・パセオ丸合店等、阿毘縁では郵便局で販売しています。

青色文字は可燃物、赤色文字は不燃物、黄色文字は発砲スチロール・ペットボトル、緑色文字はビン・缶の4種類の袋があります。いずれも10枚入りで450円です。独居・少人数世帯、ゴミの少ない世帯等、袋の大きさが半分ですが、各ゴミ共通の10枚入り250円もあります。用途に合わせて各家庭で適した袋を購入していただき、分別収集にご協力をお願い致します。

野焼き・不法投棄のない地域にみんなで取り組みましょう。



お願いです

木村忠之さんが阿毘縁の四季・行事等を後世に残すために保存しようと、日々地域内を回り収集活動に頑張っておられます。一月からむらづくり協議会の行事等も取材をされ、保存の材料を一つずつ収集されています。

これからも地域内に出かけて、情報収集、写真撮影等されます。皆さんも木村さんの意向を汲んでご協力をお願いします。

山 帰 来 コ ー ナ ー

山归来通信 3月4日

阿毘縁もすっかり雪が溶けてしまいました。暖かくてビックリ！

農作業の用意や、バラの冬囲いを解いたり急に忙しくなってきました。

ところで先日(一月と二月の定例会に)『あしびえ杜の市』について話し合い、今年はアポニーで六月十二日・十三日バラの一番きれいな時期にしようと言つ事になりました。その日は無料開放の予定です。詳しくは次号にて……

雅

協議会活動記録

(2月)

- 15日：保健体育部会
- 16日：産業観光振興部会
- 24日：理事・事務局会議

(3月)

- 1日：日野川の源流と流域を守る会
事業打ち合わせ会
- 4日：会計監査会
- 11日：役員推薦会議
- 12日：平成22年度定期総会

これからの予定

(3月)

- 25日：日野川の源流と流域を守る会
事業打合せ会

日野川の源流と流域を守る会

この会は、日野川源流や流域のために活動をされている団体です。

今年の活動の基本方針として

- ・ 森林、河川保全のボランティア活動を積極的に行う。
- ・ 次世代を担う小中学生を対象に啓発活動を行う。
- ・ 上流域と下流域の交流を活発にする。
- ・ 新規会員の加入を促進し、活動基盤の強化を図る。

今年度は、阿毘縁地域で何かやってみたいと言う事です。

そこで、プロジェクト山帰来・解脱寺・もみの木市さんと相談しながら6月12日(土曜日)にゆきんこ村周辺と解脱寺周辺で活動する計画を立てています。内容等は後日報告いたします。

今年度、阿毘縁地域の歴史・史跡マップを作る予定です。

皆さんの家庭で眠っている資料や情報がありましたらお寄せください。お願いします。

「希小動植物」についての勉強会に参加して

三月六日、「山上地内の自然植物と環境について考えてみませんか・・・」という、講演会が開かれました(山上町づくりの会主催)。この日講師を務められた県立大山自然歴史館の館長さんを紹介した縁で、私も阿毘縁の何人かの方をお誘いして参加させていただきました。

館長の矢田貝繁明さんは、「レッドデータブックととり」の作成にもかかわっておられ、現在見直し作業が行われているとのことでした。鳥取県の希小動植物を写されたスライドを使って一時間半お話を聞くことができました。身近にある、あるいはかつて見たことのある植物のお話しがとても楽しく、自然との共存をはかりながら生活していくことの大切さを感じました。

蘭は「ラン菌」なくしては生存できない

蘭の仲間は一般的に、種があまりにも小さく軽いのが特徴です。そのため一般の植物の種子に見られる胚乳(発芽のために種子に蓄えたエネルギー源)がないため自力で発芽ができず、菌(ラン菌と呼ばれる)の助けを借りなければ(栄養をもらわなければ)、発芽・初期の生長ができなくなっています。ですから、エビネを除けば、山から掘ってきて移植しても枯れてしまうそうです。これはコウタケやマツタケなどキノコ類を掘ってきて移植しても繁殖しないのと同じことだそうです。蘭の周りの背丈が高くなる草などを刈ってやり、自然のままですと見守ってやってほしいと強調されました。

動物八種、植物三十三種が特定希少種に指定されている

鳥取県ではオオサンショウウオなど八種の動物、ヤシヤゼンマイ、ベニバナシャクヤクなど三十三種が特定希少種にされています。野生では絶滅してしまったもの、あるいは絶滅が危惧されているものがあるそうです。

これらの動植物は採取などが厳しく禁止されており、違反すれば懲役や罰金などが科せられるそうです。

近年放置されたままの里山や草地、湿原などが増え、河川工事や除草剤の使用などによって環境が悪化し、絶滅に追いやられる動植物が多くあるそうです。身近な自然環境に改めて関心を深め、自然との共存をはかっていくことの大切を感じた時間でした。